

MOMAT コレクション 今期は豪華な小特集二本立て！

＼当館の人気作！／



[1] 村山知義《コンストラクション》1925年

＼実験精神！／



[2] 大辻清司《『大辻清司ポートフォリオ』より
美術家の肖像・福島秀子》1950年

100年前の災害とその前後の時代を 3つの部屋でワイドに紹介

小特集 関東大震災から100年

3つのテーマでたどる 写真家・ 大辻清司の実験の軌跡

小特集 生誕100年 大辻清司

前期：2023年5月23日（火）－7月17日（月）

後期：2023年7月19日（水）－9月10日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー

自信があります！ MOMAT コレクション

東京国立近代美術館のMOMATコレクションでは、13,000点を超える所蔵作品から選りすぐりの約200点を、会期毎に3フロア、12の部屋に分けて展示し、19世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切り口で紹介しています。

今期の見どころは2つの小特集、「関東大震災から100年」と「生誕100年大辻清司」です。

関東大震災から100年の節目である今年、震災を切り口に、日本画、油彩、版画、写真、グラフィックデザインなど、幅広いジャンルの作品と資料で1920－30年代を振り返ります。また、戦後まもなく前衛的な作品で注目され、写真に関する書き手や教育者としても存在感を示した写真家・大辻清司（1923 - 2001）の生誕100年を記念して、その足跡の一端をご紹介します。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL：03-3214-2565（直通） FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp



小特集 関東大震災から100年

所蔵品ギャラリー 2-4室（4階）

関東大震災から100年の節目である今年は、特別に展示室を3つ使い、100年前の災害と美術の関係を幅広いジャンルの作品と資料で振り返ります。震災の当日に発表されていた作品あり、美術家による震災の被害や復興の記録あり。また、震災の前後に勃興した美術運動は、不安定な時代に社会の問題を描く現代の美術と照らし合わせることもできるでしょう。

ポイント

- 前後期合わせて**60点以上を展示**。日本画、油彩、版画、写真、彫刻、グラフィックデザインなど、幅広いジャンルの作品と資料で震災の時代をたどります。
- 震災が起こった1923年9月1日は、奇しくも第10回の再興院展と二科展の初日でした。当館のコレクションから、**まさにその展覧会に出品されていた作品**をご紹介します。

＼復興の提灯！／



[3] 十亀広太郎《東京新橋銀座通賑之景 新橋芸妓組合復興ノ提灯》1923年

- 震災後に加速した前衛的な美術を紹介。**近年海外からの高い注目を浴びている村山知義**が参加した「マヴォ」をはじめ、新興美術と呼ばれた当時の過激な前衛グループの活動をご覧いただけます。

小特集 生誕100年大辻清司

所蔵品ギャラリー 7-9室（3階）

協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館

写真家・大辻清司（おおつじ・きよじ）の生誕100年を記念し、その足跡の一端を、同時代の絵画や彫刻などを交えて3部屋にわたりご紹介します。各部屋のテーマは①『『実験』と『共同』』、②『『具体』と『物質』』、③『上原二丁目』。それぞれ大辻が関わった運動、大辻が目撃したもの、そして大辻の思索と、視点を変えながら大辻の活動に迫ります。1999年に「大辻清司写真实験室」展を当館で開催して以降の積年の研究と収集の成果をご覧ください。

ポイント

- 武蔵野美術大学 美術館・図書館での回顧展が予定され、千葉市美術館で開催中の「『前衛』写真の精神」展の主要作家でもある大辻清司は、**現在最も注目すべき写真家の一人**です。
- 大辻の写真だけでなく、**当館のコレクションから同時代の絵画や彫刻など交え、前後期合わせて70点以上を展示**。バリエーション豊かな作品群から浮かび上がる時代の軌跡をお楽しみいただけます。
- 3つの構成で振り返る大辻の活動 ↗

＼大辻の作業場！／



[4] 大辻清司《ここにこんなモノがあったのかと、いろいろ発見した写真》1975年

- ①『『実験』と『共同』』：大辻が参加した二つの表現者集団、「実験工房」と「グラフィック集団」に注目。若々しく実験精神あふれる活動をご紹介します。
- ②『『具体』と『物質』』：1950年代の初期「具体美術協会」、そして、いわゆる「もの派」の動向が注目された1970年の「第10回日本国際美術展 人間と物質」の記録を紹介。いまや伝説となっている歴史の現場に大辻が立ち会った記録は見逃せません。
- ③『上原二丁目』：自らを被験者として、写真をめぐる思索を深めた大辻。小特集の締め括りは、東京・代々木上原の大辻の自宅兼アトリエなど、身近な環境に向けられた独自のまなざしに迫ります。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576

Email: pr-f@momat.go.jp

開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんでん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2023年5月23日(火)～9月10日(日)

休館日：月曜日(ただし7月17日は開館)、7月18日(火)

開館時間：10:00-17:00(金曜・土曜は10:00-20:00)※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般500(400)円/大学生250(200)円

※()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の17時以降は、割引料金(一般300円、大学生150円。)

※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時開催：企画展「ガウディとサグラダ・ファミリア展」

2023年6月13日(火)～9月10日(日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/552>

「ガウディとサグラダ・ファミリア展」のチケットで、入館当日に限り
所蔵作品展「MOMAT コレクション」もご覧いただけます。

「ガウディとサグラダ・ファミリア展」に関するお問い合わせ先

「ガウディとサグラダ・ファミリア展」広報事務局(ユース・プランニング・センター内)

TEL 03-6826-1245 / FAX 03-6821-8869 E-mail: gaudi2023@ypcpr.com



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。1952年に開館し、2022年12月1日に開館70周年を迎えました。最大の特徴は重要文化財18点(うち2点は寄託)を含む13,000点を超える国内最大級のコレクション。19世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565(直通) FAX: 03-3214-2576

Email: pr-f@momat.go.jp

